学校番号	３０２９

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	高校生の美術２（１１６日文）美Ⅱ　７０２						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・美術Ⅰでの活動体験を基礎に、表現と鑑賞が一体になった課題制作をおこない、制作途中や完成作品の相互鑑賞もおこないます。

・一人ひとり、思いや見方、感じ方が違います。表現形式の特性や形体・色彩などについて着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。違った見方を相互鑑賞で共有すると、また更に広がったり深まったりします。

２　学習の到達目標

・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。

・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

・主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	発想や構想したことを基に、意図に応じて材料や用具を生かし、創造的・効果的に表す工夫をしている。 造形要素の働きを理解し、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。	感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、表現方法の特性などから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。 作品の造形的なよさや美しさなどを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考えたり、美術の働き、美術文化について考えたりし、見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	美術っていろいろ	【鑑賞】 ・オリエンテーション 教科書を鑑賞し、多様な表現について学び、「美術Ⅱ」の学習イメージを持つ。	a: 造形的な特徴などをもとに、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。 b: 美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の独自性などを感じ取り、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めている。 c: 美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲的に取り組もうとしている。	ワークシート	ワークシート	活動の様子
	「○○の箱」あの作家かな？あの作品だ！	【絵画・彫刻】 【鑑賞】 ・作品選び 教科書や作品集の中から絵画作品を選ぶ。 ・アイデアスケッチ 模写範囲を決め、その作品世界が箱から出てくるようにスケッチし、支持体の形を決める。 ・制作 板材を下書きの形に糸鋸で切る。 作品に応じて下塗りする。 アクリル絵の具、その他で模写する。 作品に応じて板の側面も着彩する。 裏面に角材を付け、壁面から絵が浮くようにする。 金具を付け、壁面に飾り、見え方を確認する。 ・相互鑑賞	a: 元作品の造形的な視点について理解し、特徴を表すために、画風に合わせた筆使いや彩色の工夫をしている。また、見せ方を工夫している。 b: 選んだ作者や作品の画風、特徴や中心となるポイントなどについて考え、創造的な表現の構想を練っている。また、他の再表現者の作品の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。 c: 代表的な美術作品の世界が箱から現れるように描くことに関心を持ち、表したい絵を選ぼうとしている。元の作者の意図や表現の工夫を感じ取り、読み取った作品のエッセンスを自分なりに再表現し、特徴を伝えようとしている。	作品 ワークシート	制作途中の作品 アイデアスケッチ ワークシート 発言の内容	ワークシート 活動の様子

	小さな彫刻	【絵画・彫刻】 【鑑賞】 ・粘土成形による立体作品例鑑賞 ・アイデアスケッチ ・小型の試作 ・制作 粘土成形(1～2Kg) くり抜き (乾燥・素焼き焼成) ・相互鑑賞	a: 表したい対象物の量感に合わせ、いろいろな方向から形をとらえ、ヘラなどの道具を使いこなして立体に表現している。 b: 主題に応じて、見る方向や量感を考え、個性豊かで創造的な立体表現の構想を練っている。作者の意図や表現の工夫、造形的なよさや美しさなどを感じ取り、発想や構想の独自性と立体表現の工夫について多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。 c: 粘土の可塑性に関心を持ち、その特性をつかみながら構想を練ったり表現したりしようとしている。	作品 ワークシート アイデアスケッチ	アイデアスケッチ ワークシート 作品 発言の内容	活動の様子 ワークシート 作品 アイデアスケッチ

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度